

事業報告書（さつき荘）

項 目	内 容
指定管理者名	社会福祉法人 新潟市社会福祉協議会
団体の概要	<p>□所在地 新潟市中央区八千代1丁目3番1号</p> <p>□代表者 会長 関 昭一</p> <p>□職員数 役員 1人 正職員 226人 非常勤・臨時・パート職員 1,542人</p> <p>□設立年月日 昭和31年3月29日</p> <p>□主な業務内容</p> <ul style="list-style-type: none"> ○地域・在宅福祉活動の推進（友愛訪問事業など） ○ボランティア活動の振興（ボランティア団体への支援など） ○情報・相談及び広報活動の推進（心配ごと相談所など） ○資金の貸付（生活福祉資金など） ○介護保険事業（訪問介護サービス事業など） ○障がい者自立支援事業（障がい者居宅介護サービス事業など） ○イベント（障がい者大運動会など） ○各種福祉事業（ひまわりクラブの管理運営など）
基本方針	<p>母子生活支援施設には、DV被害を受けた利用者をはじめ、多くの課題を抱えた母子が入所しています。入所から退所後の地域での生活を含め、長期にわたり母子を総合的に支援できるよう、利用者である母親の立場を尊重し、信頼関係を構築し、ともに課題を解決していく視点を持ったうえで、子育て、生活支援、就労支援などを含めた支援を行いました。</p>

<p>運営組織</p>	<p>□職員の配置</p> <ul style="list-style-type: none"> ・施設長 1名 ・母子指導員 2名 ・少年指導員兼事務員 1名 ・嘱託医 1名 <p>□職員の資質向上，育成について</p> <p>下記研修に積極的に参加し，直近の職員会議で報告することで施設内研修を行いました。受講機会が均等になるよう配慮しました。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新潟県社会福祉協議会職員研修 3研修 述べ6名 ・新潟市社会福祉協議会初任職員研修 1研修 述べ3名 ・新潟県主催の研修（DV関係・児童関係） 4研修 述べ6名 ・新潟市児童相談所主催の研修 1研修 1名 ・江南区要保護児童対策協議会の研修 1研修 1名 ・母子生活支援施設協議会の研修 3研修 述べ5名
<p>運営</p>	<p>□利用者の日常生活支援について</p> <p>就労世帯については，母子家庭であっても土・日・祝日の勤務を避けられない状況にあるため，母親に対する労いの言葉掛けや留守番児童の見守り・声掛け等により就労意欲が継続できるよう支援しました。</p> <p>未就労世帯については，求職情報・就労支援制度の情報提供，ハローワークへの同行等を行い，母親が生計維持の中心となり子どもを養育しながら就労を始められるよう支援しました。また，就労経験に乏しい母親や心身の理由で社会的自立を段階的に行う必要のある母親に対しては，ジョブトレーニングを視野に入れた相談やサポートステーション等の関係機関の視察，施設内奉仕活動への参加により，就労につなげる支援を行いました。</p> <p>□利用者の自立促進</p> <p>各世帯がまず取り組むべきことと，中長期的な目標とを明確にした自立支援計画の策定を行い，それに沿った支援を行うことで，自発的で具体的な行動を引き出せるよう支援しました。また，日々の状況観察とそれに対する肯定的な言葉掛けを行うことで，自立意欲を促せるよう努めました。さらに，対人関係を苦手とする母親に対しては，職員が当面の対象となり，良好な人間関係作り</p>

を経験できるよう支援しました。

各々の世帯が、抱える課題を全てクリアしての退所は困難でかつ稀あるため、退所後の児童の受け入れや母親の相談に積極的に応じるなどし、退所後の母子が精神的に安定し、自立意欲の高い状態を保てるよう支援のネットワーク作りにも心がけ、支援を行いました。

○児童の健全育成

登下校（園）時の関わりを大切にし、日々の体調や心の変化を注意深く観察しました。施設内遊びや施設行事を友達との関わり方や集団のルール学びの場とし、母親の子育ての信条に沿った支援を心がけました。また、荘庭の花壇や畑を活用し、植物栽培等による情操教育に配慮しました。

○母親の支援

育児能力・家事能力が低い母親に対しては、職員と共に実践する支援を行いました。母親集会では、個との向き合い方等を一緒に考え、自己分析や自己肯定し、前向きな生活・子育てができるよう応援・支援しました。

○生活の安定・向上

経済的・精神的に豊かに暮らせるよう、社会資源の情報提供を行いながら、各々が自分の持っている能力に気付き、それを最大限に発揮できるよう、努力に見合った評価を心がけました。

○よりよい生活環境の提供

施設での生活には、集団生活の中に個々の生活の場があることを常に念頭に置き、安心と癒しを感じられる雰囲気づくりと、人権とプライバシーへの配慮を心がけました。また、新型インフルエンザを始め、季節性の感染症対策にも配慮し、必要に応じた健康管理指導や設備の改善を行いました。

<p>危機管理</p>	<p>□事故防止，防災に対する考え方と対処方法</p> <p>不意の事故や災害の発生に備え，常に危機意識を持って，入所者の安全確保に万全を期せるよう，災害を想定した避難訓練を毎月実施しました。</p> <p>□事故，災害，緊急時の対応及び体制</p> <p>「怪我等の事故が発生した場合」「不審者侵入時」「火災発生時」「自然災害発生時」「感染症発生時」を想定した危機管理マニュアルを備え，職員に周知徹底しました。また，不審者の侵入を想定した訓練を実施し，緊急対応に備えました。さらに，ヒヤリ・ハット事例が発生した際には，その都度，職員間で情報の共有を行いました。</p> <p>□個人情報保護の方針及び方法</p> <p>社会福祉法人新潟市社会福祉協議会の個人情報保護方針に基づき，保護に努めました。</p>
<p>施設維持管理</p>	<p>□施設管理</p> <p>施設内外の環境美化に努め，施設が生活の場として快適なものとなるよう配慮しました。特に，居室内の湿気によるカビの発生予防に努めました。</p> <p>□環境への配慮</p> <p>「にいがた環境行動プラン」に基づき，環境保全への取り組みを実践しました。また，施設の入所者等に対する環境の保全に関する情報提供や，職員に対する研修及び自己啓発の推進にも努めました。</p> <p>□経費節減への取組み</p> <p>紙類使用量の減量化や不要用紙の裏面利用，封筒の再利用等により，事務消耗品の節約に努めました。また，冷暖房温度の配慮や不要な箇所の消灯を心がける等，電気・ガス・水道などの使用量の削減に向けた取り組みを実践しました。</p>